

東日本大震災の発災から丸5年。混乱の避難から続く重い足取りを、一歩ずつでも確実に前へ進める時が来ています。

村は、国が直轄で行う復興事業についても、村の裁量権を最大限認めるべきとして交渉を続け、その結果として、農地の地力回復工事や、被災家屋等の解体工事などが実施されているところです。また、他の自治体と共に求めてきた森林除染のうち、里山除染の実質的な検討が始まり、これについても早急な進展が望まれるところです。

生活圏の除染が進んだ昨年から、避難指示解除に備えた村内事業が一斉に進んでいます。この節目における村内の現状と、帰村に対する村の考えや事業の意図などをお伝えします。

愛称募集中です！飯館村交流センター

木の温もりいっぱいの建物。円形の多目的ホールや研修室、和室、キッチンスタジオ、児童書コーナーなどを備えます。開館は8月の予定。3月31日必着で愛称を募集中です。



生涯学習係・志賀係長

に地元の大切にした建物です。活用してください。

3・11特別編

復興を歩む vol.11 帰村への布石



建設が進む交流センター（新しい公民館）。右手に見えているのが円形ホールです

菅野典雄村長に聞く わが村らしい復興を

「帰村にかける思いを教えてください」
 2年で帰りたいとした「希望プラン」はかなわず村民の期待を裏切っていました。それだけ厳しく難しい災害だった訳ですが愚痴を言っても解決にはなりません。復興のため「までの村に陽はまた昇る」の気持ちを持って、村で生活ができる環境作りにつとめて取り組んでいきたいと思えます。帰還困難区域の復興にも諦めずに取り組めます。

子どもや若い世代の帰村について

将来のためには若い人や子どもたちの帰村を願いますが、当然それぞれの判断を尊重します。車で1時間以内に90%が避難しているの、いろいろなつながり方ができます。ご家庭によっては2地域居住というやり方もあるでしょう。元に戻らないから駄目だと決めつけることなく、常に前向きな答えを見つけていきたいと思えます。

教育や育児支援の充実について

「それならば村でも」と思える教育環境が必要で、線量を徹底して下げることがもちろん、教育の身を大事にしていきたいです。少人数でこそできることも数多くあると思えるので、有識者

特集 「復興を歩む3.11特別編 帰村への布石」 P3

特集
 村民ふれあい集会&10大ニュース P6

お知らせ
 村農業再開への取り組み P12

お知らせ
 「いやしの宿」閉所と「きこり」再開 P14

村から課から係から

教育のページ
 みらい議会 P10

考えてみっぺ、村の学校
 子どもたちへの支援事業
 教育コラム P16

ほけんとふくし
 100歳賀寿
 こころの健康コラム P17

お知らせ
 リフォーム廃棄物の線量調査結果 P18



3月号の目次

報告のページ
 入札結果ほか P20

HOPES ホープス
 つくってたべよう
 こころのぼけっと P21

いいたて便り
 文化財防火デーほか P22

つながるアルバム P24

皆さんの声をお聞かせください P26

いいたて歳時記
 ひとつのうごき
 編集後記 P27

仲間とともに
 水曜日のカラオケ仲間 P28



飯館村デジタルアーカイブから 在校生が次年度入学生を前に発表会。草野小学校の仮入学（昭和39年3月）